

極東國際軍事裁判所

亞采利加合衆國 其他

對

荒木貞夫 其他

宣誓供述書

供述者

東京都大田區田園調布四丁目五七

大

橋

龍

男

明治二十四年八月三十一日生

自分議我國ニ行ハルル方式ニ從ヒ先ツ別紙ノ通り宣誓ヲ爲シタル上
次ノ如ク供述致シマス

同 貴方の住所、氏名、生年月日は
答 東京都大田區田園調布四丁目五七

大 橋 龍 男

明治二十四年八月三十一日生

F 終戦時の貴方の階級は

答 豫備海軍少將

同 貴方の海軍に於ける略歴を述べて下さい

答 私は潜水隊長、潜水隊司令、呉工廠潜水監部部員、呉軍需部第一、2

第二課長、野島特務隊長等を経て昭和十六年（一九四一年）八月

第十四砲艦隊司令となり昭和十七年（一九四二年）四月豫備役と

なりましたが即日應召し太平洋戦争中は左の勤務に服しました

昭和十七年（一九四二年）五月より同十八年（一九四三年）九月

まで リオデジャネロ丸艦長

昭和十八年（一九四三年）九月より同年十二月まで

リオデジャネロ丸艦長（同船運送船となりし為）

昭和十九年（一九四四年）三月より昭和二十年（一九四五年）一月まで 第一護衛艦隊運航指揮官

昭和二十年（一九四五年）一月より終戦まで

門 司 海 軍 武 官

問 リオデジャネロ丸といふ船は如何なる船ですか

答 大阪商船所有で噸數一〇、〇〇〇噸、最大速力約十六節、デイー

ゼルエンチンの貨客船で南米航路に使用されてゐたのを海軍に徴用され特設潜水母艦に改装された船であります

問 其の船は如何なる外装をしてゐましたか

答 二層一煙突の客船型で上層と煙突の上段を灰白色に塗り其他船体は全部藍色でありました

問 何故その様な色彩を取りましたか

答 敵潜水艦よりの遠距離発見を避くる爲めであります

問 貴方が隊長になつてからのリオデジャネロ丸の行動を述べて下さい

答 一九四二年四月ミッドウエー作戦の爲クエゼリン島に回航し待機

して居りましたが同年六月佐世保に帰航しました

同年七月佐世保を發しベナンに向け航行中印沖で敵潜水艦の攻撃を受け損傷し修理の爲シンガポールに入港一九四二年十二月修理完了スラバヤに回航しました

一九四三年一月以降十月迄はスラバヤを基地として時々遠送任務に従事しました

問 何故遠送任務に従事しましたか

答 スラバヤには潜水艦基地があつたので潜水艦が前進基地を使用しない限り餘り母艦の必要がなく又一面船腹の不足の爲めであります

問 如何なるものを遠送してゐましたか

答 人員及軍需品であります

問 兵器、彈薬を含みますか

答 勿論含みます

- 問 如何なる地方に行動しましたか
- 答 ジャワ、ボルネオ、セレベス、ニューギニヤ、アンボン、比島、小スンダ列島、テモール等であります
- 問 患者輸送をした事がありますか
- 答 ありません
- 問 アンボンへ入港したのは何時ですか
- 答 第一回は一九四三年一月中旬であり以後同年三月迄の間に二回程入港したと記憶します
- 問 アンボン入港の目的は何ですか
- 答 人員及軍需品の局地輸送です
- 問 アンボンには何日位入港してゐましたか
- 答 何時も一日か二日位です
- 問 入港中荷物の荷揚げ荷卸しに現地部隊が作業を使用してゐましたか
- 答 記憶して居りません

問 アンボンから患者を乗船させた事がありますか
答 ありません

問 リオデジャネロ丸の乗組員はどの位ありましたか
答 約三〇〇名です

問 乗員は武装してゐましたか
答 必要な者は勿論武装してゐました

問 リオデジャネロ丸は何處の指揮を受けて居りましたか
答 一九四二年四月當時は海軍陸隊直屬の第五潜水隊に屬して居りました

一九四二年六月以降は南西方面艦隊所屬の潜水部隊に屬して居りました

問 一九四三年九月以降リオデジャネロ丸はごうしましたか
答 一九四三年九月特設運送船に艦種を変更せられましたので改装の

爲同船を内地に同航し私は十二月退職しました

其後此の船は播磨造船所で改装してゐましたが完了後一九四四年三月トラツクに於て沈没したと聞いて居ります

問 貴方が乗船中リオデジャネロ丸が赤十字章を使用した事がありますか

答 左様な事は絶対ありません

私は国際裁判の法廷で臺灣か或は他の何處かの俘虜であつた人が証人に出てリオデジャネロ丸がアンボンで赤十字章を使用してゐたといふ事を述べた事新聞で讀み何うしてその様な間違が起つたかと思議に堪えません

問 海軍の病院船にリオデジャネロ丸といふのがありますか
答 左様な船は聞いた事がありません

Def Doc No. 1954

昭和二十二年（一九四七年）七月十日於東京

供述者 大橋 龍 男

右ハ當立會人ノ面前ニテ宣誓シ且署名捺印シタルコトヲ證明シマス

同日 於東京

立會人 宗 宮 信 次 8

Def Doc No. 1954

良心ニ従ヒ眞實ヲ述ベ何事ヲモ欺秘セズ又何事ヲモ附加セザルコトヲ
誓フ

宣
誓
書

署名捺印
大橋 龍 男